

(憲 法)

第1問 (配点: 50点)

法律の憲法適合性判断を立法事実の変化によっておこなうことの当否について、具体的な判例をひとつ挙げて論じなさい。

第2問 (配点: 50点)

次の(設例)を読んで、問に答えなさい。

(設例)

20**年、Y県では暴走族による騒音被害が多数報告された。この原因についてY県議会が調査したところ、暴走族を主人公とした漫画がY県内で人気を博しているなど、Y県民の一部に暴走族を美化する風潮があることがわかった。

Y県議会は、県民が平穏な生活を送ることができるようにするため、コンビニエンスストアが住民の生活に密着していることに鑑み、Y県内のコンビニエンスストア全店に対して暴走族を美化する表現を含む漫画の販売を禁止する条例を制定した(ただし、違反に対する罰則等の制裁規定はない。以下「本件条例」という。)。本件条例の制定を受けて、Y県内のコンビニエンスストア全店が暴走族を美化する表現を含む漫画を撤去した。

Xは、暴走族を主人公とした漫画の作者である。Xの漫画もY県内のコンビニエンスストア全店から撤去された。Xは、本件条例は憲法違反ではないかと考え、法律事務所に出向き相談した。

[問]

あなたが応対にあたった法律事務所の弁護士であるとして、憲法違反の主張の仕方についてどのように説明すべきか述べなさい。なお、解答にあたっては、憲法第何条に違反することになるかも述べること。ただし、法律と条例の関係については論ずる必要はない。